

市長と話そう、みんなで考えよう まちづくりトーク



5月19日(土) 午前10時~12時30分

逗子小学校体育館にて

※逗子文化プラザ・市民交流センターの1階からお入りください

防災グッズ展示販売 & 地震と津波について学ぶ展示もあります

*** 古くなった消火器の回収(有料)も行います ***

- ・定員200名(当日先着順)
- ・事前申込み不要。直接、会場へお越しください。
- ・聴覚障がい者のための要約筆記、手話通訳があります。
- ・「託児」(先着5名)を希望する場合は、5月14日(月)までにお申し込みください。



主催 逗子市 (問合せ 市民協働部 市民協働課)
電話 046-873-1111 FAX : 046-872-3003
E-mail : siminkyoudou@city.zushi.kanagawa.jp

逗子市では、昨年3月以降、大地震や津波に備えて、さまざまな対策を講じてきました。

- ・「津波ハザードマップ」の改訂と全戸配布
- ・防災ハンドブックの配布
- ・津波避難訓練の実施
- ・防災行政無線子局の増設
- ・MCA無線の増設
- ・街路灯、広報板等への標高表示
- ・津波避難案内表示板の設置
- ・公共施設への戸別受信機の設置

など

しかし、行政がどんなに予算を投じ対策を講じて、それだけでは、大規模災害への備えは、十分とは言えません。本当の意味で「安心、安全なまちづくり」を実現するためには、市民の参加と協力が不可欠です。今回の「まちづくりトーク」では、災害に強い逗子を実現するため、防災対策を妨げる「壁」を越える具体的な方法を、参加者の皆さんとともに考え、これからのまちづくりにつなげていきたいと思ひます。

お年寄りの方、障がいをお持ちの方、小さな子どもをもつお母さん、遠くへお勤めのお父さん、子ども、外国人、学校や保育園・幼稚園の教職員の方、医師・看護師・・・それぞれの立場から、当事者としての声を聞かせていただければと思ひます。ぜひ、気軽にご参加ください。

会場案内図

逗子文化プラザ・市民交流センターの1階からお入りください。体育館は3階です。



「まちづくりトーク」って、なに？

市長と一緒に、逗子の「まちづくり」について考え語り合う、逗子市が主催する集まりです。2011年度は、「ゼロ・ウェイスト（ゴミの減量化）」「スポーツ振興計画」「子育て」「地域力」などをテーマに、計9回実施しました。

子どもから大人まで、逗子のまちづくりに関心を持つ人であれば、どなたでも参加することができます。行政から市民に向けての一方的な説明会ではなく、そこに集まった人たちが、それぞれの立場から多様な意見を出し合うことで、豊かなまちづくりを進めていくことを目指しています。

昨年5月の「まちづくりトーク」の様子

～大地震・津波にそなえて

私たちは今、何をすべきか～



災害時の避難所となる逗子小学校の体育館
約200人の市民が参加して行われました



後半は、地域ごとのグループに分かれて意見交換
市長、副市長のほか、約30名の市の職員も
話の輪に加わりました



グループで出した意見を模造紙に書き出していました
これがその後の逗子市の防災対策の参考になりました